

サン・パイオ・デ・ナルラ城塞博物館 (MUSEO FORTALEZA DE SAN PAIO DE NARLA)

(ルゴ県議会博物館ネットワーク)

建物の歴史

シアの塔またはサン・パイオ・デ・ナルラの塔と呼ばれるこの建物が文献に初めて登場したのは14世紀のことですが、その建立は恐らく12世紀か13世紀だと考えられています。イルマンディーニョスの戦いによって塔は激しく損傷し、16世紀の記録から、バスコ・ダス・セイシャスが再建工事を命じたことがわかっています。

建物は、マヌエル・バスケス・セイハス氏の働きかけと仲介によって、1939年にルゴ県議会の所有となり、取り壊しを免れました。

3つの部分と外部の礼拝堂から成る建物には中世の資材を再利用され、16～19世紀までの様々な時代に属する建設要素が見られます。

1階

1. 中庭

中庭の周囲には、農業、かご細工、木靴作りなど、伝統的な仕事に関連のある様々なコレクションが並んでいます。隣接する部屋にはベッドが4台展示されており、3台はオロット型、1台は新古典様式です。当博物館には数々のベッドが存在しますが、まずここでその一部を観覧することができます。

2. 既舎

ここは「移動手段の間」と呼べましょう。椅子かご、輿（フアン・ロペス・スアレス氏寄贈。ソベルのリバス館より）、スペインと南米の鞍、美しい拍車一式など、移動手段に関する様々な展示品が置かれている場所であるためです。

3. ワイン貯蔵室

革袋、ワイン計量器、ブドウ圧搾機、樽など、非常に興味深い品々で貯蔵室特有の要素を展示しています。貯蔵室と広間は、広間の続き部屋を通してつながっています。

上階

4. 台所

台所には建設当初の3要素である、「ラレイラ」（暖炉）、かまど、トイレがあります。その他、長椅子3脚、若鶏の飼育かご、食器棚（陶磁器用の棚付き家具）、「ク

ンケイロ」(カップ棚)が2台あり、小さな陳列棚には、ココア用鍋、アイロン、ガリシア陶器のコレクションが並べられています。

5. 広間

この部屋の中心的な建築要素は、腰かけのある角張った広い面会室です。また、ルネサンス様式の装飾が施された暖炉や、17世紀のものと思われる美しい聖具保管棚も特筆に値します。大型の振り子時計のコレクションや、貴族が飲料用に水を浄化するために使用していたろ過器コレクションが注目を集めます。

中央には、18世紀の聖体顕示台、宗教的な彫像、煉獄の靈魂の像2点、エルミダスの聖母像がある17世紀の聖像箱など、興味深い品々を収めた陳列棚があります。その他、ガリシアの大衆的な金銀細工や、黒玉(ガリシア文化と密接に結び付いている守りの石)細工も展示されています。

6. 機織り部屋

この部屋の元の用途は不明ですが、ワイン貯蔵室と広間を結ぶ通過点であることから、使用人用の場所であった可能性が高いと考えられています。そのため、紡錘、かせぎ、房飾り織り機、糸車、ポビンレースの織り台、梳き櫛、梳毛機、糸繰り器、糸巻き棒といった、毛糸、綿、亜麻の仕事に関係する道具の展示室が設置されました。

7. 廊下

広間から出ると、照明関連の展示品(ランプの芯切りばさみ、小型ランプ、オイルランプ、燭台、皿型のろうそく立て、鉤付きカンテラ、石油ランプ)や、大半が18、19世紀のものであるすり鉢など、様々な工芸作品コレクションが観覧できます。

8. 執務室

この部屋には公証人の仕事に関連する様々な用具が収められています。動物の角でできた携帯用インク壺(18、19世紀に公証人が使用)、インクを吸い取るための砂を入れた器、豊富な杖コレクション、バロック様式の箆筒と飾り戸棚があります。

9. 寝室

寝室を再現した部屋で、ベッドとその下部にある衣類保管用の大櫃、ベッド加温器、洗面台があります。

塔と礼拝堂

10. 塔の1階

この階には刀剣類が展示されており、中心を成すのは17世紀の武士の見事な甲冑(ファン・ロペス・スアレズ寄贈)です。フィリピンとキューバのマチェテ(山刀)、短剣、サーベル、レイピア、ナックルダスター、中世の鎖帷子の手袋も言及する価値があります。

跳ね上げ戸から、城塞建設当時の窓なし牢獄を見ることができます。ここには足枷の付いた巨大な鎖が保存されています。

11. 塔の2階

この部屋の最初の展示物は、圧倒的な存在感を示す「モーロ」式のフィリピン製よろいです。水牛の角の薄板、鎖帷子、真鍮を用いて17～18世紀に作られたものです。その他、前装式と後装式のピストルと大型ピストル、散弾銃、カービン銃、小銃、大砲などのコレクションや、狩猟用の角笛と火薬入れも観覧できます。

12. 塔の3階

この部屋で最も目を引くのは、バスコス・ダス・セイシャスが16世紀に建造を命じたルネサンス様式の暖炉で、動物や植物の形のモチーフを用いた装飾が施されています。この部屋には寝室の家具類が展示されており、オロット型のバロック様式ベッド2台、ポルトガルの伝統を伝えるガリシアのベッド2台、揺りかご、椅子式便器が観覧できます。

13. 礼拝堂

建物の外、塔へのアクセススロープから降りた所に、18世紀建造の小さな四角形の建物があります。

サン・ペラヨ像をはじめとする様々な像がある19世紀の飾り衝立、昔の告解室、典礼用オルガン、祈祷台、様々な聖像や聖像画があります。

開館時間

- 4月1日～9月30日 :
- 火曜～金曜 : 11:00～14:00、17:00～20:00
- 土曜、日曜、祝日 : 12:00～14:00、17:00～20:00
- 月曜 : 休館
- 10月1日～3月31日 :
- 火曜～金曜 : 11:00～14:00、16:00～18:00
- 土曜、日曜、祝日 : 12:00～14:00、16:00～18:00
- 月曜 : 休館

ホームページ

<http://museosanpaio.blogspot.com/>

<http://www.facebook.com/museodesanpaio@sanpaiodenarla>